

「The New Times」（英字日刊紙）の主要報道
2013年6月

在ルワンダ大使館

（１）内政

● **ルワンダ難民の帰還**：5日、ビジマナ司法省次官が、本紙に対し、ルワンダ帰還民への法的支援（ガチャチャ裁判における判決に基づいた支援）のための戦略を公表し、12月末までに、個別の事例を精査する旨述べた。特に、土地及び財産の所有問題が解決すべき課題として挙げられている。

● **下院議員選挙**：6日、ルワンダ選挙管理委員会（NEC）は、9月に予定されている下院議員選挙の今後の計画を公表した。同計画によると、候補者の受付は、7月9日から8月9日となり、選挙は9月16日から18日にかけて実施される。また、NECは、選挙関連費用は50億ルワンダフラン（RWF）（約790万米ドル、1米ドル＝630RWF）と見積もっており、有権者数（登録者数）は600万人程度と見込んでいる。下院議員は定数80名、53議席が選挙（投票日は16日）で選出され、24議席がルワンダ女性評議会からの推薦（17日に選出）、2議席が青年代表、1議席が障がい者の代表（18日に選出）に割り当てられる。

● **2013年度（7月～6月）予算**：13日、ガテテ財務大臣は、国会において上下院議員に対し、2013年度の政府予算案を提示した。同予算案は、前年度の修正後予算より約1,030億RWF（約1億6,349万米ドル）増の1兆6,530億RWF（約26億2,380万米ドル）となった。歳入は、税収及び税外収入等から9,949億RWF（全歳入の60.2%）及び海外援助から6,586億RWF（全歳入の39.8%）で編成されている。

● **インガビレ党首裁判**：18日、ルワンダ検察局及び訴追されている被告の1人は、インガビレ統一民主勢力（UDF）インキンギ党（未登録野党）党首の弁護人（ガシャバナ弁護士）が、参考人（証人AA）に対し、「イ」党首の高裁判決が最高裁判決において減軽されるよう、虚偽の発言を行うよう仕向けている旨述べた。

● **RDF 幹部の異動**：22日、カヨンガ参謀総長の後任として、ニャムブンガ中將がルワンダ国防軍（RDF）参謀総長に任命された。また、ンジザ国防省次官（准将）は、少将に昇進し軍監察官に任命された。

（２）経済

● **国境貿易**：４日、カニンバ貿易産業大臣は、本紙に対し、国境貿易の促進のため、隣国の国境沿いにあるすべての郡に市場を建設する計画である旨述べた。貿易産業省の 2012 年国境貿易戦略によると、近隣国（東アフリカ共同体（EAC）加盟国及びコンゴ（民））のうち、ルワンダにとって最大の輸出国はコンゴ（民）であり、正規部門の 70%、非正規部門の 80%を占めている。また、同省の貿易統計によると、2011 年の輸出は非正規部門（推計 332 億 RWF）、正規部門（219 億 RWF）であり、輸入は非正規部門（推計 115 億 RWF）、正規部門（624 億 RWF）であった。

● **韓国 ICT 企業の対ルワンダ投資**：10 日、韓国最大の通信会社である韓国テレコム（KT）とルワンダ政府は、KT のブロードバンド・ネットワーク（4G LTE）の展開にかかる協力枠組の合意文書に署名した。同合意文書によると、KT は、インフラ整備及び技術移転に 1 億 4,000 万米ドルを投入する予定である。一方、ルワンダ政府は、KT に対し、光ファイバー回線の提供、ブロードバンドサービス周波数の割当て、回線販売事業の認可等を行うことになる。

● **インフレ率**：10 日、ルワンダ統計局（NISR）は、5 月のインフレ率が前年同月比で 4 月の 4.3%から 4.8%に上昇した旨公表した。NISR は、生鮮食品及び燃料価格上昇が主要因であるとしている。また、NISR は、2013 年第一四半期（1 月～3 月）の経済（実質 GDP）成長率が、6%（前年同期比）であった旨公表した。農業分野が成長をけん引しているとの結果であった。なお、ルワンダの 2013 年の経済成長率（予測）は 7.5%である。

● **バス公社（ONATRACOM）の経営再建計画**：ムタバジ・インフラ省首席エンジニアは、本紙に対し、バス公社（ONATRACOM）の経営再建のため、55 億 RWF（このうち 35 億 RWF は債務返済）に上る政府資金を投入する旨公表した。また、「ム」首席エンジニアは、3 年後には ONATRACOM が、民間からの投資によって一部もしくは完全民営化され、公開株式会社（Public limited company）となることを期待している旨述べた。

● **政策金利の引き下げ**：ルワンゴムブワ中央銀行（BNR）総裁は、政策金利を現行の 7.5%から 7%に引き下げる旨公表した。「ル」総裁は、金利引き下げの目的は資金流動性を高めるためであると説明している。過去 5 か月における銀行の貸出実績は 1,761 億 RWF（前年同期実績は 2,144 億 RWF）であった。

● **鉱山使用料**：鉱山使用料に関する法案が国会を通過した。同法案第 4 条によると、ベースメタル等の一般鉱物は輸出価格の 4%、また、金及び貴金属・ダイヤモンド及び宝石は輸出価格の 6%が鉱山会社からルワンダ政府に支払われることになる。

● **課税問題**：2013 年度（7 月）から施行される銀行等からの融資に対する課税（付加価値税：VAT、18%）に関し、専門家はルワンダ政府に再考を求めている。ガチンジ・エルンスト&ヤング税務アドバイザーは、同課税によって金利が上昇し、その結果（融資額が減少することによって）、金融業の成長を阻害する可能性を指摘している。本件に関し、ツサボ・ルワンダ歳入庁（RRA）副長官は、関連法の適切性につき注視する旨述べた。また、同じく 2013 年度から導入された建設資材に対する課税（ホテル建設の場合は 10 万米ドル、180 万米ドル以上の事業の場合は総費用の 10%）に関し、建設業界は、同課税が建設分野の成長を鈍らせる可能性があるかと懸念している。

（3）外交・安全保障

● **国連・ルワンダ関係（ダルフル問題）**：5 日、ガサナ・ルワンダ国連常駐代表（兼国際協力担当大臣）は、国連常任理事会のスーダン及び国際刑事裁判所（ICC）に関するブリーフィングにおいて、スーダンのダルフル問題の政治解決を呼びかけた。その中でも、「ガ」常駐代表は、2011 年にカタルで合意された「ダルフル問題解決のための枠組み合意」の実施こそが政治解決に向けた唯一の手段である旨強調した。

● **国連・ルワンダ関係（マリ問題）**：カズラ RDF 少将が、国連マリ多角的統合安定化ミッション（MINUSMA）の司令官に任命された。「カ」少将は、ダルフルの AU ミッションの副司令官を務めた経歴を有する。また、15 日、カガメ大統領は記者会見において、ルワンダは国連から PKO 要員の派遣を打診されている旨公表した。

● **ナイル川流域の水資源利用問題**：ナイル川流域委員会（NBC）設立に向けた協力枠組み合意（CFA）批准問題に関し、20 名以上のルワンダ国会議員は、批准に向けた協議において、エジプトは自己中心的であると批判した。CFA は、加盟（予定）国によって 2010 年 5 月にカンパラで署名され、ルワンダでも批准に向け国会で審議中である。なお、NBC 設立までの移行的処置として、ナイル川流域イニシアティブ（NBI）が 1999 年に設立されており、ナイル川流域における水利用問題の調整を行っている。

● **大湖地域情勢（FDLR との交渉）**：1 日、ムソニ地方自治大臣は、ルワンダ政府はジェノサイド・イデオロギーを有するいかなる個人、組織（特に、ルワンダ解放民主勢力（FDLR））とも交渉する考えを持ち合わせていない旨述べた。また、「ム」大臣は、ジェノサイド・イデオロギーに賛同しない者は FDLR から離脱しており、彼らが社会統合プログラムに参加することは自由である旨述べる一方で、ジェノサイドに関与した疑いのある者は、法により審査される（ガチャチャ裁判の判決等に基づいて裁かれる）べきである旨述べた。

● **カガメ大統領のウガンダ訪問**：25日、ウガンダを訪問したカガメ大統領は、ムセベニ・ウガンダ大統領及びケニヤッタ・ケニア大統領と会談し、ケニア・ウガンダ・ルワンダを結ぶ鉄道の改修及び建設に合意した。また、3大統領は、2本の石油パイプライン（①燃料油：ケニアのエルドレットからウガンダのカンパラ経由でキガリをつなぐライン及び②原油：ウガンダからケニア、南スーダンともリンクをさせ、ケニアのラム港をつなぐライン）の建設にも合意した。

● **ドイツ・ルワンダ関係**：4日、ルワンダを訪問したニーベル・ドイツ経済協力・開発省大臣は、ハブムレミ首相及びガテテ財務大臣と会談した。「ニ」大臣は、会談後の記者会見において、昨今の著しい経済社会開発により、ルワンダは大湖地域において影響力を有している旨述べた。

● **フランス・ルワンダ関係（ハビヤリマナ元大統領夫人の政治亡命申請）**：フランス国务院（Le Conseil d'Etat）は、「ハ」夫人の政治亡命申請を却下した。「ハ」元夫人は、1994年のツチ族に対するジェノサイドの計画及び実行の中心的役割を果たしたフツ族過激派集団「Akazu」（当館注：「小さな家」の意味）の中心人物であった。

● **ベルギー・ルワンダ関係**：12日、ラビュ・ベルギー開発協力担当大臣とガテテ財務大臣は、公共分野の支援を目的とした1,500万ユーロの支援にかかる合意文書に署名した。

● **イギリス・ルワンダ関係**：20日、カガメ大統領は、イギリスの対ルワンダ援助の効果を評価するためルワンダを訪問したグリーンング・イギリス国際開発大臣（閣内大臣）の表敬を受けた。「グ」大臣は、表敬後の記者会見において、包括的な経済成長達成に向けたルワンダの努力を評価している旨述べた。

（注）「ルワンダ月報」は、ルワンダの英字日刊紙「The New Times」の報道を当館限りでまとめたものです。記事の中の客観事実は、日本政府やルワンダ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。